

2025(令和7)4月11日更新 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

『燃える花嫁』

作:ピンク地底人3号 演出:生田みゆき



「クルド人」コミュニティへの取材を元に
「共生」と「排除」に揺れる国の未来に一石を投じる問題作

日時:6月20日(金)19:00、6月21日(土)14:00 全2ステージ
会場:ロームシアター京都 ノースホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:儀三武、寺田
電話:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

「クルド人」コミュニティへの取材を基に 「共生」と「排除」に揺れる国の未来に一石を投じる問題作

日本における在留外国人数(令和6年現在)は358万人で、年々10数万人ずつ増加している。目的は「永住」「技能実習」「留学」などさまざまであるが、日本の産業を支えているのはこうした「外国人」労働である。本作が取材したのは埼玉県川口市や蕨市に住む「クルド人」コミュニティ。トルコ、イラク、シリア、イランなどの山岳地帯に暮らし、国を持たない民族であるクルドの人々は、紛争を避けるために1990年代からトルコから日本に移住し、現在は川口市周辺に2000人以上が住んでいる。彼らは「難民認定」を受けられないため、常に「強制送還」の危機にさらされている。

取材を基に架空の舞台設定で展開される本作の戯曲は、元納棺師という異色の経歴を持ち、生者と死者の境界を曖昧にしながら社会を描き出す、京都拠点の気鋭劇作家、ピンク地底人3号が担う。演出は、文学座所属で、パレスチナ問題を扱った『占領の囚人たち』をはじめ、社会の切実な事象に切りこみ高い評価を得る注目の演出家・生田みゆきが手掛ける。

公演に先駆けて開催する連携企画では、「生活保護と外国人」(明石書店)などの著書を有し、「つくろい東京ファンド」の生活支援スタッフをはじめ、ソーシャルワーカーとして支援活動が続ける大澤優真と生田みゆきが、「共生」をテーマにトークを繰り広げる。現在、世界が直面するテーマに真摯な問いを投げかける本公演と合わせて、注目してほしい。



写真左上より、みのすけ、松本紀保、清水明彦、鬼頭典子
左下より、平体まひろ、森尾舞、西山聖了、山下瑛司

■ピンク地底人3号 メッセージ

架空の日本。多くの難民が暮らす第4地区で、在日外国人の桐野ユウスケは解体業を営みながら、姉のカナエ、娘のアカリと慎ましやかに暮らしていた。ある日、彼らの事務所に、第13地区から出稼ぎに来ていた緑川マキというトラックドライバーが現れる。日本人でないという理由で進学もままならないアカリは自由に生きるマキに心惹かれる。

一方、入国管理局が難民受け入れの制限を始めたことで、在日外国人と日本人との間で激しい衝突が起こり始める……

「演劇」は「社会」を映す鏡だから、「社会」を描けば自ずと「演劇」になる。

ただ、いつも思うのだけれど「社会」を描くだけでは足りなくて、「演劇」はやはり「社会」の「未来」を描くものだ。

その「未来」が良いものであろうと悪いものであろうと。どうぞご期待ください。

作 | ピンク地底人3号 / ピンクチテイジンサンゴウ



© chanmi

劇作家/演出家

同志社大学文学部文化学科美学芸術学卒業。

生者と死者の境界がボーダレスな、苛烈な会話劇を得意とする。Stage of the year 2022 ステージびあ審査員特別賞受賞。セゾン文化財団セゾン・フェローⅡ(2023-2026)助成。2018年『わたしのヒーロー』(第6回せんだい短編戯曲賞大賞 単独受賞)、2019年『鎖骨に天使が眠っている』(第24回劇作家協会新人戯曲賞 受賞)、2020年『カンザキ』(第27回 OMS 戯曲賞佳作 受賞)、2021年『華指1832』(第66回岸田國土戯曲賞最終候補作品)、2022年『燐光のイルカたち』(演出:宮田慶子)、2022年 KAVC プロデュース公演手話裁判劇『テロ』(第1回関西えんげき大賞最優秀作品賞/観客投票ベストワン賞 ダブル受賞)。

■生田みゆき メッセージ

入管での暴力的な行為や、日本の難民認定数の低さ、外国人に対するヘイトデモ…そういうものを見聞きするたびに、何故人間が同じ人間に対してこうも非人道的になれるのか、と憤りを感じます。一方、高校の時にホームステイしたオーストリアの家族のもとを数年前に訪ねた時に、街を歩く人の見た目や話す言葉が明らかに変化していて、私自身戸惑ったこと、そしてホストマザーが「あの人たちはルールを守らず、治安が悪くなった。この街からさっさと出て行ってほしい」と吐き捨てるように言っていたことも思い出されます。また自分自身が「外国人」としてオーストリアに暮らした時に、私を仲間として受け入れてほしいという思いと同時に、私は違う文化圏の人間だ、と同化を拒む気持ちもありました。

世界で紛争が起き、難民や移民の数が増え続ける中、私たちが様々な形で直面せざるを得ないこれらの問題から浮かび上がる人間の美しさも醜さも、全て描き出せたらと思います。

演出 | 生田みゆき / イクタミユキ



© 日下 諭

演出家。文学座所属、演劇ユニット「理性的な変人たち」メンバー。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ドイツ文化センターの文化プログラムの語学奨学金(芸術分野対象)を得てドイツに滞在(2016年夏)。名取事務所公演でパレスチナ演劇上演シリーズ2023年2月『占領の囚人たち』を演出したほか、近年の演出作に『建築家とアッシリア皇帝』『海戦2023』『アナトミー・オブ・ア・スーサイドー死と生をめぐる重層曲一』など。『占領の囚人たち』『海戦2023』『屠殺人ブッチャー』にて31回読売演劇大賞優秀演出家賞、『占領の囚人たち』ほかで芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

■公演情報

『燃える花嫁』

作:ピンク地底人3号 演出:生田みゆき 制作:名取事務所

公演詳細ページ [👉こちら](#)

作:ピンク地底人3号 演出:生田みゆき

出演:みのすけ、松本紀保、清水明彦、鬼頭典子、平体まひろ、森尾舞、西山聖了、山下瑛司

会場:ロームシアター京都 ノースホール (京都市左京区岡崎最勝寺町13)

日時:2025年6月20日(金)19時開演

6月21日(土)14時開演※

※21日、託児サービスあり(要事前予約・詳細はWEBページをご確認ください)

チケット:〈全席自由〉

一般 3,500円、ユース(25歳以下)2,000円、20歳以下 1,000円

会員特別価格(一般)3,200円*

*会員:京都コンサートホール・ロームシアター京都 Club、京響友の会

※サポーター・パートナー会員(最速先行予約や一部割引適用等の特典あり)の詳細はこちら→

一般発売:4月13日(日)10時～

チケット取扱:

■オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

■ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL. 075-746-3201

(窓口・電話とも 10:00～19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

■京都コンサートホール チケットカウンター

TEL. 075-711-3231

(窓口・電話とも 10:00～17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

観劇サポート:

〈車椅子でご来場のお客様へ〉

車いす席をご用意しています。ロームシアター京都チケットカウンター(075-746-3201)まで、介助者の有無を含め事前にご連絡ください。

他地域の公演:

東京公演 6/11(水)～15(日) 吉祥寺シアター

岡山公演 6/24(火)～25(水) 岡山芸術創造劇場 ハレノワ 小劇場

福岡公演 6/28(土)～29(日) J:COM 北九州芸術劇場 小劇場

スタッフクレジット:

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業))

独立行政法人日本芸術文化振興会

お問合せ先:ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

公演ページ

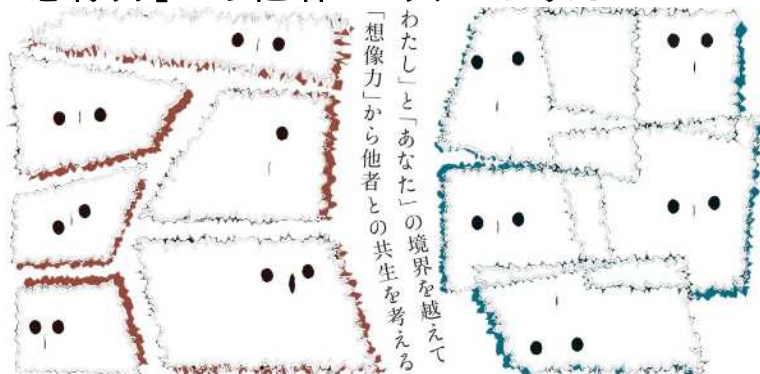


■関連企画

“いま”を考えるトークシリーズ Vol.25【作:ピンク地底人 3号、演出:生田みゆき『燃える花嫁』連携企画】

生田みゆき(演出家)×大澤優真(ソーシャルワーカー)トーク

「わたし」と「あなた」の境界を越えて 「想像力」から他者との共生を考える



多様な角度から同時代の社会を知り、捉え直すためのトピックを挙げ、それにまつわるゲストを招く。複雑化し、混乱する現代を「いかに生きるべきか」。その手掛かりを探りともに考えるトークシリーズです。

第25回は、「クルド人」コミュニティに取材し、「共生」と「排除」を問う演劇作品『燃える花嫁』との連携企画。文学座所属、演劇ユニット「理性的な変人たち」メンバーで、社会の切実な事象に演劇の手法で切りこむ演出家・生田みゆき氏と、『生活保護と外国人』（明石書店）などの著書があり、「つくろい東京ファンド」の生活支援スタッフをはじめ、ソーシャルワーカーとして支援活動を続ける大澤優真氏をお迎えし、共に生きる他者にたいしての想像力の在り方について、状況を知るとともに、想像力で他者に接近する演劇のアプローチを重ね、共に考えていきます。

2025年5月16日(金)19:00～

会場:ロームシアター京都 パークプラザ3階共通ロビー **申込不要・無料**

事前申込優先。当日お席がある場合は申込無しでもご参加いただけます。

ゲスト:生田みゆき(演出家)、大澤優真(ソーシャルワーカー)



大澤優真 Yuma Osawa

1992年千葉県生まれ。2013年から生活困窮者支援に関わり、近年は特に困窮する難民・仮放免状態にある困窮外国人の支援活動を行う。NPO法人北関東医療相談会・理事、一般社団法人つくろい東京ファンド・生活支援スタッフ、移住者と連帯する全国ネットワーク・運営委員など。社会福祉士。博士(人間福祉)。大学兼任講師。近著に『生活保護と外国人』、『外国人の生存権保障ガイドブック』(共著)など。<https://yumaosawa.com/>



生田みゆき Miyuki Ikuta

演出家。文学座所属、演劇ユニット「理性的な変人たち」メンバー。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ドイツ文化センターの文化プログラムの語学奨学金(芸術分野対象)を得てドイツに滞在(2016年夏)。名取事務所公演でパレスチナ演劇上演シリーズ2023年2月『占領の囚人たち』を演出したほか、近年の演出作に『建築家とアッシリア皇帝』『海戦 2023』『アナトミー・オブ・ア・スーサイドー死と生をめぐる重層曲一』など。『占領の囚人たち』『海戦 2023』『屠殺人ブッチャー』にて31回読売演劇大賞優秀演出家賞、『占領の囚人たち』ほかで芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

申込方法:専用予約フォーム([こちら](#))あるいはFAX(075-746-3366)でお申し込みください。FAXには、お名前、参加人数、ご連絡先のメールアドレス及び電話番号をご記入ください。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市令和7年度文化庁文化資源活用推進事業